

お知らせ

1. 初めて参加された方を歓迎致します。主に在って
良きまじわりができますようにお祈り致します。
2. 登録された方は『新しい家族』として教会で
行っている基本的な案内コースに参加するように
お勧め致します。
3. 教会の会堂建築のためにお祈りとご協力をお
願い致します。
4. 6月の誕生日:
本橋敬子(6/12) 長瀬玲子(6/19)

来週の奉仕担のとはし当

	日本語 礼拝	韓国語 礼拝
祈 禱	車在淑 師母	閔丙勳 勸士
聖 書 奉 読	本橋敬子 妹	朴永佶 牧師
献 金	閔丙勳 勸士	金門妹 執事

今週の暗唱聖句

詩篇145:3

3. 여호와 는 위대 하시니 크게 찬양 할 것이
라 그의 위대 하심 을 측량 하지 못 하리로다

詩編145:3

3. 大いなる主、限りなく賛美される主 大きな
御業は究めることもできません。

先週の報告

先週の出席		男	女	計
	主日学校礼拝			
	日本語礼拝	2	5	7
	韓国語礼拝	3	8	11

香ばしい捧げ物

十一献金	俞徳洙
宣教献金	윤석연
感謝献金	朴永佶 閔丙勳 無名(1)
主日献金	朴永佶 閔丙勳 朴寶雅 崔明順 山田路子 本橋敬子(光輝) 孫容玉 長瀬玲子 李善香 無名(1)
建築献金	閔丙勳 朴永佶 朴善東 朴賢東 朴俊東

礼拝及び集まり案内

	時 間		時 間
日本語 礼拝	午前 10:00	教会 学校	午前 11:30
韓国語 礼拝	午前 11:30	小グループ	午後 13:00
金曜 祈禱会	午後 19:00	韓国語 教室	毎週土曜日 10:00 - 13:00
早天 礼拝	月-土 05:30	水曜 礼拝	午後 19:00

教会案内図



第2025-22

2025年 6月 1日

2025年度標語聖句

그리스도의 몸을 온전히
이루는 교회

キリストの体をなす教会



日本福音教会連合

日本弟子達の教会

担任牧師：朴 永佶

332-0017 埼玉県川口市栄町3-2-20 401号(川口駅前ビル)

電話：048-251-7011 携帯：090-4458-5917

E-mail：loveycsh1915@hanmail.net

café：http://cafe.daum.net/n.d.church

homepage：http://jdc.church/

主日礼拝

日本語礼拝 午前 10:00
韓国語礼拝 午後 11:30

今週の御言葉

금주의 성경말씀

司会：朴永佶 牧師

イエス様を仰ぎ見よう ヨハネ3:22-33

예수를 바라보라 요한복음3:22-33

賛美引導		弟子賛美団
※礼拝賛美	35	— 同
※聖詩交読	20. 詩編91編	— 同
※信仰告白	使徒信条	— 同
賛美	316	— 同
祈禱	日本語礼拝 韓国語礼拝	朴永佶 牧師
奉献賛美	71	— 同
奉献祈禱		司会者
聖書朗読	ヨハネ3:22-33 요한복음3:22-33	本橋敬子 妹 朴永佶 牧師
説教	日本語礼拝 韓国語礼拝	朴永佶 牧師

イエス様を仰ぎ見よう 예수를 바라보라

賛美	317	— 同
※閉会頌	27	— 同
※祝禱		司会者
広告		司会者

(※) 印は起立して下さい

22. その後、イエスは弟子たちとユダヤ地方に行って、そこに一緒に滞在し、洗礼を授けておられた。

23. 他方、ヨハネは、サリムの近くのアイノンで洗礼を授けていた。そこは水が豊かであったからである。人々は来て、洗礼を受けていた。

24. ヨハネはまだ投獄されていなかったのである。

25. ところがヨハネの弟子たちと、あるユダヤ人との間で、清めのことで論争が起こった。

26. 彼らはヨハネのもとに来て言った。「ラビ、ヨルダン川の向こう側であなたと一緒にいた人、あなたが証しされたあの方が、洗礼を授けています。みんながあの方の方へ行っています。」

27. ヨハネは答えて言った。「天から与えられなければ、人は何も受けることができない。

28. わたしは、『自分はメシアではない』と言い、『自分はあの方の前に遣わされた者だ』と言ったが、そのことについては、あなたたち自身が証ししてくれる。

29. 花嫁を迎えるのは花婿だ。花婿の介添え人はそばに立って耳を傾け、花婿の声が聞こえると大いに喜ぶ。だから、わたしは喜びで満たされている。

30. あの方は栄え、わたしは衰えねばならない。」

31. 「上から来られる方は、すべてのものの上におられる。地から出る者は地に属し、地に属する者として語る。天から来られる方は、すべてのものの上におられる。

32. この方は、見たこと、聞いたことを証しされるが、だれもその証しを受け入れない。

33. その証しを受け入れる者は、神が真実であることを確認したことになる。

22. 그 후에 예수께서 제자들과 유대 땅으로 가서 거기 함께 유하시며 세례를 베푸시더라

23. 요한도 살렘 가까운 애논에서 세례를 베푸니 거기 물이 많음이라 그러므로 사람들이 와서 세례를 받더라

24. 요한이 아직 옥에 갇히지 아니하였더라

25. 이에 요한의 제자 중에서 한 유대인과 더불어 정결예식에 대하여 변론이 되었더니

26. 그들이 요한에게 가서 이르되 랍비여 선생님과 함께 요단 강 저편에 있던 이 곧 선생님이 증언하시던 이가 세례를 베풀매 사람이 다 그에게로 가더이다

27. 요한이 대답하여 이르되 만일 하늘에서 주신 바 아니면 사람이 아무 것도 받을 수 없느니라

28. 내가 말한 바 나는 그리스도가 아니요 그의 앞에 보내심을 받은 자라고 한 것을 증언할 자는 너희니라

29. 신부를 취하는 자는 신랑이나 서서 신랑의 음성을 듣는 친구가 크게 기뻐하나니 나는 이러한 기쁨으로 충만하였노라

30. 그는 흥하여야 하겠고 나는 쇠하여야 하리라 하니라

31. 위로부터 오시는 이는 만물 위에 계시고 땅에서 난 이는 땅에 속하여 땅에 속한 것을 말하느니라 하늘로부터 오시는 이는 만물 위에 계시나니

32. 그가 친히 보고 들은 것을 증언하되 그의 증언을 받는 자가 없도다

33. 그의 증언을 받는 자는 하나님께서 참되시다는 것을 인쳤느니라